

私たちの道

MCWAYを感じる

入社してから現在までの、1年半の振り返り

1. コンサルタントとしての価値は、お客さまと共に未来をつくるに値する人間となり、お客さまと共に考え、実行し続ける立場であり続けることではないかと感じる

- ・“専門的知見”、“問題解決能力”、“実行力”や“ハードスキル”は前提であって本質ではないと感じるようになりました
- ・“正論”や“あるべき論”、“知見を発揮すること”が実行に結び付くための議論ではないと感じています
- ・枠にとらわれることなく、“今”のお客さまが“未来”に向かって歩を進めるために、できる限りのあらゆることを柔軟に考え、そして確実に実行することが必要であると考えます
- ・また、そのためには、“信頼に値する”だけの人間性が必要であると認識するに至りました
- ・コンサルタントとして、心技体を磨き、相手の状態や動きに合わせて自分の技を変えていく、コンサルタントが目指すものは、“人間としての総合格闘技”ではないかと考えています

2. 中長期的な関係を見据えると、“自分の枠”を超え続けることがお客さまへの価値となる

- ・中長期的なスパンを想定し、お客さまと共に未来をつくる中で考えなければいけないこととして、支援の中で成長していくお客さまをさらに上回る速度で成長する必要があると感じるようになりました。お客さまに対する自分の価値は常に相対的に陳腐化し続けていく実感があります
- ・そのためには、自分の枠を常に超えるために何ができるかを考え続ける必要があると思っています。枠を超えることは、“成長し続けること”と“自分の限界を、仲間と共に超えること”の2点であると認識しており、日々の自分の行動へ落とし込みを回り続けなければいけないと考えます

3. チームコンサルティングの意義は“価値の極大化”と“やりがい”で、私はそのためにできることを考えていく

- ・自分に見えていることは所詮自分の視野の中の事であると感じています。その点ではお客さまへの価値発揮においても、自分1人でやることや自分の考えを中心に進めることは、自分自身が価値や視座の上限になると感じるようになりました。前述の通り、仲間と共に超えていくべきと感じています
- ・私自身が、チームとして価値発揮のための上限を取り払うためにどのように振る舞えばいいのか、どのような取り組みが考えられるのか、日々思いを巡らせるようになりました
- ・ただ、それも少し打算的な話であって、私のもっとシンプルな想いとして、仲間(MCメンバー、お客さま、その他メンバーも含め)と日々の課題や苦境を乗り越えていくことが単純に“喜び”であり、なによりの“やりがい”なのだ気付くことができた1年半でした
- ・チームとして、そして組織全体がやりがいを持って前向きに仕事に取り組み、それがお客さま...ひいては社会への価値につながるような、自分の振る舞いを今後も考え続けたいと思います

ただし、偉そうなことを書いていますが、私自身各要素が完璧にできているとは全く思いません。今後もこうしたコンサルタント像を目指していけるように、日々の精進を重ねていきます